

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 結果

達成度(評価)
A:十分達成できている
B:おおむね達成できている
C:やや不十分である
D:不十分である

学校名 武雄市立山中中学校

1 前年度 評価結果の概要
・昨年度は、朝の会や帰りの会の時間帯を利用して「読み取りタイム」や「ライティングタイム」を利用して読む力や書く力の育成に取り組んだり、授業時においてICTを活用した分かりやすい授業を展開したりして、生徒一人一人の学力向上を目指した実践を行ってきた。その結果、学校評価の生徒の評価項目の「ICT機器を活用した授業が自分の力につながっていると思いますか」については、ほぼ全校生徒が肯定的な回答で答えている。しかし、依然として基礎的・基本的な学力の定着不足が各教科で見え、各教科の授業において日々の取り組みの見直しが必要である。
・昨年同様引き続き生徒の困り感や悩みは多岐にわたっている。発達支持的及び課題予防的な生徒指導に取り組み、いじめ防止・早期発見・早期対応、教育相談や特別支援教育の充実に組織的に取り組む必要がある。

2 学校教育目標
「夢と誇りをもち、自ら学び、仲間とともにしなやかに伸びる生徒の育成」
目指す生徒像 ①「心豊かで、社会性のある生徒」 ②「自ら学び、共に高め合う生徒」 ③「心身ともに明るく健康な生徒」

3 本年度の重点目標
生徒の教育活動全般を通した立腰教育の充実および生徒会活動「AJISAI運動」の活性化

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1)共通評価項目
表: 評価項目, 重点取組内容, 成果指標(数値目標), 具体的取組, 達成度(評価), 最終評価(実施結果), 評価, 学校関係者評価(意見や発言), 主な担当者

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志と誇りを高める教育

5 総合評価・次年度への展望
・昨年度に引き続き、今年度もすべての項目でおおむね達成以上の結果を得ることができた。しかし、おおむね達成の項目が多く、十分達成への手立てが今後の課題と捉えている。
・「安心して生活できる学校」だと肯定的に回答する生徒・保護者の割合は80.8%の結果を得た。しかし、現状としていじめ事案が発生しており、「学校はいじめに対して迅速に対応している」と肯定的に回答する生徒の割合70.4%の結果にとどまっていた。今後も引き続き、仲間づくりを中心とした人権学習、道徳教育、発達支持的生徒指導の推進をより一層図り、いじめ防止、いじめの早期発見・対応に取り組んでいきたい。また、家庭との連携も引き続き行う中でいじめの初期段階での早期発見・早期対応を行っていくことが大切と考える。
・働き方改革についての取り組みは、昨年度同様本年度も教職員に強く推進してきた。以前の状況より改善が見られるが、更に校務DX等を取り入れた働き方改革の推進を図っていく必要がある。